

漁港・漁場だより

発行所

(社)沖縄県漁港漁場協会

〒900-0016

那覇市前島3丁目25-39(水産会館4階)

TEL:098-867-1876

FAX:098-862-8209

九州地区漁港漁場大会in沖縄



漁港漁場大会会場(くくる糸満)



主催者挨拶する當銘会長

とき: 令和8年7月16日 場所: 糸満市 参加者数: 440人

令和8年度九州地区漁港漁場大会が(一社)沖縄県漁港漁場協会の主催により、7月16日午前10時から糸満市のシャボン玉せつけんくる糸満において、九州各県から約440人が参加して盛大に開催された。

主催者を代表して當銘真栄会長(糸満市長)が「本大会は全国漁港漁場協会が主催する大会に向け、九州地区からの要望を決定する大事なものとなる。水産業を取り巻く環境は厳しいが、これらの課題に対応し、漁業従事者が安心して活動を継続するための漁場整備、安心して利用できる漁港整備を継続して行うことが必要である。本日は、九州各地から漁港・漁場・漁村の整備の重要性をアピールし、関係機関にさらなる整備促進の要請をするため、一堂に会していただき大変心強く思っている」と挨拶した。

続いて、藤田仁司水産庁長官(中村隆漁港漁場整備部長代読)内閣府沖縄総合事務局小八木大成局長(渡邊泰輔農林水産部長代読)、(公社)全国漁港漁場協会田中郁也会長から挨拶があった。

審議では、九州・沖縄各県連名による4件の提出議題と大会決議が提案され、満場一致で採択された。その後、次期大会開催県に宮崎県が決定され、吉野志朗宮崎県漁港漁場協会副会長(宮崎県串間市漁業協同組合長)の歓迎の挨拶があった。

大会終了後、参加者は現地視察会場の糸満漁港の高度衛生管理型魚市場、ふれあい公園、勝連町平敷屋漁港にある勝連漁協モズク加工施設、恩納村漁協の海ぶどう養殖施設に移動し、現地視察を行った。



南風原高校郷土芸能部による演舞

採択された決議・提出議題

私たちは、九州・沖縄の地において、水産物の安全・安心・安定供給に取り組むとともに、漁港・漁場・漁村の整備を通して、地域の発展や豊かな海の自然環境の保全に努めて参りました。

しかしながら、緊迫する世界情勢を背景として、原材料価格の高騰、さらには物流の混乱などが日本経済ひいては漁業経営に深刻な影響を及ぼしています。

また、漁業担い手の減少や高齢化なども進行しており厳しい状況が続いています。

さらに、近年、気候変動による海水温の上昇は、台風や集中豪雨の激甚化、赤潮の頻発化、藻場・サンゴ礁の減少や消滅等を誘起し、沿岸から沖合まで深刻な状況となっています。

加えて、地形的に自然災害の影響を受けやすい漁港・漁村においては、近い将来、発生が懸念されている東海・東南海地震・津波へ対応した防災・減災対策も喫緊の課題となっています。

このような状況の中、漁港は水産物の生産・流通等の拠点としてだけでなく、防災や漁村交流において重要な役割を担うとともに、国境離島や辺地の多い九州・沖縄では定期航路を有するなど重要な社会資本となっています。さらに漁港は、豊かな自然や漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かした海業の展開など、地域の賑わい復活への寄与が期待されているところです。

これらの状況の変化や求められる役割に対応していくためには、今後も漁港・漁場・漁村の健全な維持・発展を強力に推進していく必要があります。

そのためには、長期的な視野に立った現在の「漁港漁場整備長期計画」の達成と令和8年度から始まる「第1次国土強靱化実施中期計画」による更なる対策や予算措置が不可欠であるため、令和8年度九州地区漁港漁場大会を開催するに当たり、関係者の総意をもって、特に下記事項の実現と推進を強く要望いたします。

記

- 1 水産物の生産・流通の拠点となる漁港等の機能強化による水産業の成長産業化の実現
- 2 海洋環境の変化に対応した漁港・漁場整備及び持続可能な漁業生産を確保する技術開発の推進
- 3 漁港・漁村・海岸の強靱化・長寿命化と災害リスクへの対応力強化による安全・安心の確保
- 4 海業の振興による水産業と漁村地域の持続的な発展